鏡よ鏡 RAP VOL 20

GIG!

7〜8月にはいろいろ行くつもりです！

6月23日 新宿LOFT
WITHマネキンノイローゼ

7月6日 京都ビッグバン
WITHオフマスク00 XOYO

遅いもので この RAP通信の原稿を書くのも 3度目となりました ARUGAです。4/12 RAPのメンバーとして 初ライヴを 名古屋の ハックフィンで 行ったわけですが、キンチョーしました。ほんとに 情ないほどの キンチョー。会場自体は 狭くて、いつも 練習している スタジオと同じ位なんだけど、やっぱり こう、なんていうか 対バンの“割礼”“バンパイア”の 人たちが TOKYOから やってきた BANDだぜ！って具合に みている リハーサルの時のキンチョーっていったら なかったなあ。でも 本番では リハーサルの時ほどの キンチョー感は スタートと同時に 遠のいていったのですが…ハッキリいって このライヴ、私のデビュー戦であったわけですが“凶”と出た！ But これからの ライヴへの一歩としては あまりにも 貴重な 体験でした。ほんとに いろいろ勉強になった。ツアーの楽しさも 味わえたしね。でもさあ、NISHIKIが 作ってくれた おにぎりを、ダイエーの前の歩道で 食べていた マヌケな私達を 目撃した パンクのお兄様達は ステージでは 決してみられない もう1つの RAPを観れた わけで ウーン…スゴイナア。名古屋ツアーの 思いを胸に 次は 4/29 屋根裏のライヴへと 意識を高める ARUGAです。では皆様 屋根裏で会いましょう。がんばるぞォ。

ARUGA

やっと春らしい陽気になってきて、脳天気娘の KAORIは いつにも増して ボケーっとしてます。でも そろそろ 気をひきしめないといけません。なんせ 今年は ライブの鬼に化す RAPですから 夏のライブ予定も 大まかに 決ってるんですョ 関東近辺の あなたの町へ行きますから 今から RAPの曲を 全部おぼえて 歌って踊って 楽しいライヴにしましょう！ その時期が 近づいたら “RAPかけ声講座” でも この誌上で 開きませうか、アハハ… まあ、そろそろ 新曲も…と考えてるし 夏らしいのを いっちょ作ったろうかなぁ―と思ってるから もしも この脳天気な曲は なんだ!?と 感じたら 黒沢の曲だな、と思ってくれたまえ！ ウン

「いばってどーすんネン」と 浜田君(ダウンタウン)に 頭をどつかれたい、RAPベーシストかほりでした。では また次号で お会いしましょう みなさんっ さようならぁ―。

KAORI

発行！& あて先

[redacted]

TEA-CEREMONY-RAP係 メンバーへの手紙は60円切手同封のこと！

この RAP通信が出る頃は 今の仕事は やめて 家にいると思うわ….今の仕事は 本当に ただ忙しくて 何1つ自分の時間っていうのが 作れなかった….

もちろん 当分の間 バンドを中心に 考えて 生活したかった事もあるんだけど それ以上に 自分の進むべき道を 今考え直したいと 思ったって事も あるわね…

バンドとかは やっぱり いずれかは 活動できなくなる日がくると思うのね。でも 仕事は それこそ 60になっても 70になっても していきたいし… だからこそ 今この時間は、自分が 後悔しないような道を はっきり 決めるべきだと 思うわけ。もう 23だし いつまでも 甘ちゃんではいけないと思ったしね… 何しろ 私は いつまでも 輝いていたい。たとえ どこにいても 何をしても みがきをかけて 素敵な女性になりたいワ 本当に むずかしい時期だし 今をのがしてしまったら なんとなく もう一生 私の人生が 狂ってしまう様な気がする… 反抗したり 泣いたり笑ったり それらすべての行動が 生きてきた過程が 無意味にならない様に がんばるつもり。10人の敵がいても 1人の味方がいてくれれば 私は それでいい…. 全ての人が理解してくれなくても 誰か1人の人が理解してくれれば それでいいと思う。そして、ある日 私が みんなの前から いなくなったとしても 私は 私の進むべき道を 見つけたんだ…と 思ってほしいのです。私は 今まで 好きな様に 生きてきたから これからも 自由に 生きていきたい。

(今の仕事(広告代理店)をやめるにあたっての NISHIKIの心情でした！)

シュミ、生年月日etc. Dateの質問には
答えられます！「HYSTERIA」へ送って
下さい。人生相談etcも 1Pス！！

ちなみに RAPのメンバーの今の仕事は…
KAORI→某有名輸入農機販売会社のOL
ARUGA→銀行員
ROUGE→接骨院の診療助手
―とまあ、ナゼか みんな カタい仕事を しているんですねえ…
BANDで食べていくのは たいへんだし 今現在の 私達の実力じゃ まだまだだから、がんばらねばっ！！

LIVEをやっていて いやな客というのは 一体 このGIGに 何しに来たのか わからない様な人達。私達の演奏なんか 聴いているのか いないのか わからないほど、ボケーっとしてるくせに 高性能の カセットデッキで しっかり 録音している奴。それから、ほとんど、カメラのファインダーから 目をそらさずに、演奏に 支障をきたすほど フラッシュを たきまくる奴！どちらも GIGを楽しむというよりも ライヴカセットや 生写真を 仕入れに来ているという感じで 気分が悪い。こんな人々が あまりに多いので 私などは ますますGIG嫌いになってしまうのだが。まあ、RAPを見に来てくれる人達は 幸いなことに 問題というほど それ位ないのだが、ひとのGIGに行くと、けっこうイヤな 気分になって 帰ることが 多い。(といっても 今は ほとんど 他人のGIGに 行かないので “多かった”というのが 本当なのだが) まず一番 しらけさせるのが ダイビング！あれは やっている本人や 仲間達には 気分がいいのだろうが BANDを見に来ている 他の人間には たまらない。その時 主役は ダイビングをした 人間になってしまい、演奏なんて そっちのけになってしまう。一体 誰が 高い金を払って 他人のダイビングなど 見るものか！そして ケンカを始める奴 中には ケンカが楽しみに GIGに来ている 奴もいて それを じまんしたりするものだから 全く あきれかえってしまう。さわぎたければ ディスコか何かに 行けばいいのに、どうして わざわざ GIGに来なければ いけないのだろう？読売新聞などに パンクやインディーズについての ずいぶん ひどい記事が のせられていて、世論は“パンク撲滅運動”にまで 発展しかねない様な フンイキ。けれど 今のままじゃ 言い返す術もない。自分が 直接していないからといって、歪んだ おまつりさわぎに 乗じていていいの？ 自分達の 場所が どんどん 削れていくのを だまって 見ているつもり？ その BANDの生きた時間を 共有したいがために 私達は GIGに 行くのではないのだろうか？

ラフィンノーズの悲劇は 決して 他人事ではなく 原因は 私達1人1人に あるのだということを 忘れてはいけないと思う。もう1度 GIGというものを 考え直さなければ 私達の行き場は どこにも なくなってしまう

ROUGE